

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月14日

協議会名:	足寄町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	足寄町は、東西66.5km、南北48.2km、面積にして1,408.04km <sup>2</sup> と広大な面積を擁しており、加えて、地勢として概ね山麓で構成されているため、特に山間部において交通空白地が多く存在している。令和7年9月末時点の人口は5,815人であり、内65歳以上の高齢者の人口は2,404人、高齢化率は41.3%と高い状況にある。今後、さらに高齢化が進展することを踏まえれば、交通弱者への対応として、公共交通の重要性はますます高まるものと考えられるが、町内の交通については、様々な事業により交通サービスを提供しているものの、運行エリアや対象者が限定的であり、「町民の生活の足」として機能しているとは言い難い。よって、特に自由な移動手段を持たない交通弱者への対応として、本町に適した公共交通体系の構築は不可欠である。その一環として、交通空白地である市街地の移動の充実、地域間幹線系統へ繋ぐフィーダー路線の構築を進めているところである。